

よりよい社会を共に創る社会参画型授業の開発

～地域と関わり、多角的に考える場面の設定を通して～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

神谷 太一

様々な課題を抱え、予測困難な社会の中で、子どもたちがよりよい社会を創るために、社会参画の力が求められている。そこで、地域と関わり、多角的に考える場面を設定したよりよい社会を共に創る力を育てる社会参画型授業を開発し、その効果を検証することを目的に研究を行った。

地域と関わることで地域社会の課題に気づき、地域の外部人材と関わって追究することができる。多角的に考えることで、複数の視点で地域課題を分析することができる。この2つの視点が社会参画の力を高めるのに効果があると考え、社会参画型授業に2つの視点を加えた小学校第4学年の単元を開発し、授業実践を行った。

実践の結果、地域と関わり、多角的に考える場面の設定した社会参画型授業が、よりよい社会を共に創る力を育てる効果があることを証明した。一方、外部人材と連携・協働する力の育成が不十分だった。

今回の成果と課題をいかし、本研究で開発したよりよい社会を共に創る社会参画型授業を他学年、他の単元でも実践開発を行っていく。